

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

円高は観光客でなく専門家の来日を求めている 野口 悠紀雄 (早稲田大学大学院教授)

1. 日本では、労働力人口がすでに減少しつつあり、今後はさらに減少する。それを踏まえれば、外国の人材、とりわけ専門家を受け入れるのは、どうしても必要なことだ。政府も、外国の専門家を積極的に受け入れる方針だ。高度外国人材 (医療、介護、情報通信など) を 2009 年末の約 15.8 万人から 2020 年までに 30 万人程度に増やす計画だ。
2. そして、円高になれば日本の魅力は増す。ところが日本人は、円高のその側面に注意を払っていない。外国人の来日を求めるにしても、旅行客を求めているのだ。医療に関しても、医師や看護師を呼ぶことではなく、「メディカルツーリズム」と称して外国人の患者を呼ぶことを考えているのだ。しかし、円高が進めば、旅行客は減る。ユーロ高で一時ヨーロッパの観光客が日本に増えたが、円高が進むと減ってしまった。それなのに日本人は発想を転換しようとしなない。
3. 円高が進めば、日本で作ったものを外国に売ったり観光客を日本に呼び込むのは、難しくなる。しかし、働く人を呼び込むのは容易になる。マーケットは「外国から日本に人を受け入れよ」と言っているのだ。国際的な人材獲得競争は激化している。日本はこのチャンスを利用せずにくずくずしていれば、優秀な人材は他の国にさらわれてしまうだろう。
(参考:「週刊東洋経済」2011 年 3 月 26 日号)

経営者のための危機管理

謝罪の 4 つの段階

高柳 正盛 (日経トップリーダー編集長)

1. 謝罪には 4 つの段階があります。「癒す」→「腑に落ちる」→「許す」→「忘れる」です。不祥事を起こしたときまず大切なのは、罪を認め、誠心誠意謝って被害者や世間の人々の心を「癒す」ことです。次に、世間の想像を超えるくらい重い罪を自らに科すことで「そこまで反省しているのか」と相手が「腑に落ちる」ようにする。そうすると、いずれ「許す」を与えられ、やがて「忘れて」もらえるというわけです。
2. 取引先や顧客に迷惑をかけたときから従業員が不祥事を起こしたときまで、さまざまなケースを想定し、トラブル発生時にどう行動するかを決めておくことは不可欠でしょう。経営者は従業員と共に、改めてトラブル発生時の対応策を確認すべきです。

(参考:「日経トップリーダー」: 2011 年 6 月号)

海外事情

議事堂を一般開放 (英国)

1. 厳しい緊縮財政が続く英国で、国会も議事堂を一般公開し披露宴に提供などして少しでも稼げないかという検討が始まった。議事堂は、ロンドン中心部のテムズ川沿いにそびえるウェストミンスター宮殿で、かつて王宮だった歴史的建造物である。
2. 背景には、議事堂内のレストランが生み出す年間 8 億近い赤字がある。議員の健康志向や節約志向で、ゆっくりフルコースで昼食を取る習慣が薄れたことが最大の原因だという。「休会中や土日なら開放しても大丈夫だろう」というのが今の議員らの結論になりそうだという。

(参考:「選択」2011 年 6 月号)

古典に学ぶ

人間は長所で身を滅ぼす

「人の自ら失うや、その長する所のものを以ってなり。故に善く遊ぶ者は梁地に死し、善く射る者は中野に死す」

(訳)「管子」という古典にある言葉です。「人はその長所があだとなって身を滅ぼす。泳ぎの名人が池で溺れ、弓の達人が弓で射されるようなものである」というのです。

(参考: 守屋 洋「リーダーのための中国古典」: 日経ビジネス人文庫)